

第1章 総括

第1節 平成29年度事業運営の特徴と課題

1. 各介護保険事業利用率の状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護老人福祉施設	H29	98.3	98.2	99.3	98.2	98.0	96.4	94.8	97.9	98.4	99.2	97.3	93.2	97.4%
	H28	93.1	97.3	97.8	99.0	94.8	95.4	95.1	92.5	94.1	96.7	97.1	98.5	95.9%
短期入所生活介護	H29	110.7	103.5	109.0	112.3	91.3	112.0	123.9	120.7	117.4	113.2	122.1	133.5	114.1%
	H28	120.7	111.3	108.7	109.0	95.2	118.0	121.9	127.7	120.6	114.5	113.4	108.4	114.1%
特養+短期(施設計)	H29	99.5	98.7	100.3	99.6	97.4	97.9	97.6	100.1	100.3	100.5	99.7	97.1	99.0%
	H28	95.8	98.6	98.8	99.9	94.8	97.6	97.7	96.0	96.7	98.4	99.1	99.5	97.7%
通所介護	H29	86.5	90.4	91.5	91.1	93.7	94.4	97.0	98.4	93.0	86.9	90.1	86.2	91.6%
	H28	71.9	75.9	83.8	80.8	76.6	78.1	83.3	83.1	79.2	76.4	79.4	79.3	79.0%
総合事業	H29	12.7	15.4	13.6	17.2	22.4	25.3	24.8	30.4	29.7	25.0	25.4	27.3	22.4%
	H28							0.0	0.0	2.1	5.0	5.8	10.3	3.8%
認知症対応型通所介護	H29	休止中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H28	36.2	35.9	35.3	37.5	39.5	33.0	36.2	38.1	37.8	28.5	30.2	28.1	34.8%
通所計	H29	69.6	72.3	72.9	74.0	76.5	78.4	79.6	82.1	78.3	72.3	74.8	72.5	75.3%
	H28	62.8	65.7	71.4	69.7	67.1	66.6	71.3	71.2	68.6	64.2	66.8	66.1	67.6%
地域包括(介護予防)	H29	184	177	170	166	156	148	148	143	147	148	147	154	157.3件
	H28	272	276	280	281	277	272	275	256	243	228	212	192	255.3件
総合事業プラン	H29	73	79	90	98	101	106	108	114	111	106	107	110	100.3件
	H28	-	-	-	-	-	-	4	12	32	46	53	67	35.6件
訪問介護(介護給付)	H29	672	728	717	727	745	709	713	772	705	710	677	729	717.0h
	H28	776	790	768	742	789	762	781	761	747	662	664	736	748.2h
予防給付・総合事業	H29	282	318	311	305	330	299	306	319	310	281	290	322	306.1h
	H28	320	330	331	314	338	331	319	281	333	308	322	340	322.3h
訪問計	H29	954	1046	1028	1032	1074	1008	1015	1092	1015	991	967	1051	1022.8h
	H28	1096	1120	1099	1055	1127	1093	1100	1042	1080	970	986	1075	1070.3h
居宅介護支援	H29	130	129	133	129	127	133	137	137	131	122	122	135	130.4件
	H28	126	124	125	135	130	138	135	135	129	128	128	129	159.0件
予防給付・総合事業	H29	29	28	29	30	30	30	29	29	30	27	24	25	28.3件
	H28	27	31	32	32	32	30	30	29	29	31	31	29	30.3件

※介護老人福祉施設以外の事業においては介護予防の事業も併せて実施。

※訪問介護の数字は、派遣時間数、居宅介護支援及び地域包括の数字は、ケアプラン作成件数を表示。

1. 平成29年度の運営状況の特徴と次年度へ向けた課題

平成29年度は、法人として今後の数年間の経営方針について様々な角度から職員との話し合いを重ねてきました。当初より収支差額ゼロという最低限の目標を掲げ、目標が達成できないとなると職員の給与改定も視野にいれての厳しい状況のもと運営開始となりました。

平成28年10月から小金井市では介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、平成29年度は年間での事業継続の結果が出ています。

どの業界においても人手不足となっていますが、つきみの園グループでは特に訪問介護事業の人材不足が事業規模を保つことができなくなるほど来ています。

そのような中でも、小金井市介護事業所連絡会を通して、他事業所と交流し、情報交換することで乗り切ることができた一年となりました。

次年度においては、さらに現状が維持できるよう各事業所ともに新しいことへのチャレンジもしていきます。

(1) 施設サービス部（介護老人福祉施設＋短期入所生活介護）

特養では7月末から8月に疥癬が流行したことで、短期入所サービスを一部停止する措置を講じました。そのため、その月に稼働は91%にまで落ち込みました。専門医にかかっているにもかかわらず、診断がなかなかされにくく、そのため、感染が拡大してしまいましたが、保健所の協力もあり、感染ルートを断定し今後への策を講じることができました。

引き続き生活相談員を3名体制とし更なる安定稼働につなげることが課題となります。

(2) 地域サービス部

① 通所介護事業

平成29年度は認知症対応型通所介護は休止とし、一般型通常規模と市基準サービスと事業開始となりました。

理学療法士を機能訓練指導員として新たに配置しリハビリ等にも対応することを売りとすることでより顧客集客率が増しました。曜日によってはお申し込みをお断りすることもあり、曜日ごとのバランスも難しくなっています。

市基準サービスについては、なかなか利用に結び付きにくく、マシンを利用した運動等に特化していますが、最新の機器をそろえている事業所にはかなわない面があります。市基準サービス運営に関しては今後の課題が多々あります。

② 地域包括支援センター

数名人員構成が変わり、様々な事業、業務を覚えることから始まっています。

地域包括ケアシステム構築が求められ徐々に進んではおりますが、多くの地域住民の方々と接する機会がますます増えています。サロン等の活動も年々増えています。

介護予防日常生活支援総合事業は、平成29年9月で丸1年となるため、ようやく方向性、再確認する機会がありました。

③ 訪問介護事業所

昨年度に引き続き働き手となる登録型の訪問介護員が安定しない年となりました。その為、稼働時間が減少しています。サービス提供責任者が現場でのサービスを行う時間が多くなっています。

新規契約を交わしてもサービス継続が期待できないことが多くなっています。

より居宅介護支援事業所や介護予防支援事業所と事前協議も含めた連携が必要となっています。

③ 居宅介護支援事業所

職員の人事異動もあり、多少プラン件数は減少しています。

事業所内でも事例検討の機会なども設け、効率化、援助計画の見直し等も行っていました。

事業所内での目標も着実にこなすことができた一年でした。